

平成19年2月2日

各

位

会社名 日特エンジニアリング株式会社
 代表者の役職名 代表取締役社長 近藤進茂
 (JASDAQ・コード6145)
 問い合わせ先 専務取締役管理本部長 森下弘祥
 TEL 048-837-2011

平成19年3月期 通期の業績予想(連結・個別)
 及び配当予想の修正について

当社は平成19年2月2日開催の取締役会で、平成18年5月18日付当社「決算短信(連結)」及び「個別財務諸表の概要」において発表いたしました平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)通期の業績予想(連結・個別)及び配当予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

・業績予想修正

1. 連結業績予想の修正(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	15,800	1,820	1,050
今回修正(B)	13,800	1,050	700
増減額(B-A)	-2,000	-770	-350
増減率	-12.7%	-42.3%	-33.3%

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 40円65銭

2. 個別業績予想の修正(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	14,900	1,680	940
今回修正(B)	12,900	950	650
増減額(B-A)	-2,000	-730	-290
増減率	-13.4%	-43.5%	-30.9%

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 37円74銭

3. 修正の理由

売上高につきましては、当社の主力事業であります巻線機事業において、上期末における受注残高が29億円と低水準であったことに加え、下期の受注動向につきましても、10月こそ比較的堅調であったものの、以降伸び悩み、その結果、連結売上高138億円、個別売上高129億円と、期初発表に対しそれぞれ減少となる見通しとなりました。

損益面につきましても、顧客専用機など新製品開発に伴うコスト増に加え、利益率の高い機種の上割合の減少もあり、連結経常利益10億5千万円、個別経常利益9億5千万円と期初発表に対して減少を余儀なくされる見通しであります。

又、当期純利益につきましても、連結では7億円、個別では6億5千万円と期初発表対比減少となる見通しであります。

4. 参考：前期の実績（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期 (連 結)	13,244	1,414	938
通 期 (個 別)	12,612	1,278	849

・ 配当予想修正

1. 修正の理由

当社では、業績に裏付けされた積極的な株主への利益還元を基本方針とし、配当性向につきましては30%を目標にまいりましたが、今般の通期業績予想(連結・個別)修正に伴い、下記の通り配当予想の修正を行うものであります。

2. 修正の内容

	中間期	期末	年間
前回発表予想 (平成18年5月18日発表)	8.00円	8.00円	16.00円
今回修正予想	8.00円	4.00円	12.00円

(注) 中間配当(8.00円)は実施済みであります

3. 参考：平成18年3月期の実績

	中間期	期末	年間
平成18年3月期実績	6.00円	6.00円	12.00円